

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2015-99974(P2015-99974A)

【公開日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2013-237963(P2013-237963)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/03 (2006.01)

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/03 Z

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月3日 (2016.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

親指に振動を伝えるとともに手の甲が前方を向く状態で前記親指を耳珠に接触させることにより前記親指から振動を前記耳珠に伝えて軟骨伝導により音を聞くことを特徴とする受話方法。

【請求項 2】

手首への装着部分を有し、前記装着部分に設けられた軟骨伝導振動源から手首に振動を伝えることにより振動を前記親指に伝えることを特徴とする請求項1記載の受話方法。

【請求項 3】

手首への装着部分を有し、前記装着部分から軟骨伝導部を支持して前記軟骨伝導部を前記親指に接触させることにより振動を前記親指に伝えることを特徴とする請求項1記載の受話方法。

【請求項 4】

前記軟骨伝導部を前記親指の付け根に接触させることにより振動を前記親指に伝えることを特徴とする請求項3記載の受話方法。

【請求項 5】

前記軟骨伝導部を前記親指の付け根と人差指に挟むことにより前記軟骨伝導部を前記親指の付け根に接触させることを特徴とする請求項4記載の受話方法。

【請求項 6】

前記軟骨伝導部の振動を着信バイブレータとして利用することを特徴とする請求項 3 から 5 のいずれかに記載の受話方法。